

請 願 文 書 表

平成 2 9 年 第 1 回 中 津 川 市 議 会 （ 定 例 会 ）

平成 2 9 年 2 月 2 7 日 （ 月 ）

受理番号	請願第 1 号	受理年月日	平成 2 9 年 2 月 2 1 日	
件名	請願書「国保坂下病院の療養病床のみならず一般病床を存続させることを求める請願」	紹 介 員	粥 川 茂 和 佐 藤 光 司	
請願者	中津川市駒場 1 4 9 3 - 1 4 坂下病院を守り、中津川市の医療をよくする会 代表 古瀬 和寛	付 託 委 員 会	文 教 民 生 委 員 会	
(署名者)	1 5, 2 3 2 人			
<p>請願趣旨</p> <p>国保坂下病院は中津川市の自治体病院として、住民の健康と命を守るかけがえない役割を果たしています。</p> <p>平成 2 8 年 1 2 月 2 1 日、市長は国保坂下病院の入院機能を「療養病床」として存続させるなどの意向表明を行いました。しかし、この方針では急性期や回復期などの「一般病床」がなくなり、たとえば肺炎、骨折、白内障手術の術後の入院などができない病院になってしまうと住民は大きな不安を抱いています。</p> <p>また、方針通り平成 3 0 年度までに約 1 0 0 床の病床削減を行った場合、稼働している病床数が市の推定している入院患者数以下になり、今後数年間にわたって公立病院全体として病床が不足する事態も予想されます。このままでは、必要な入院や在宅介護など市民全体の生活に大きな影響が及ぶのではないかと懸念されます。</p> <p>こうしたことから、国保坂下病院の急性期、回復期などの「一般病床」の存続を強く求めます。住民に寄り添った地域医療体制の確立のための慎重な審議をお願いします。</p> <p>請願内容</p> <p>国保坂下病院の療養病床のみならず一般病床を存続させることを求めます。</p>				